

保育内容演習・環境	2年 後期			演習1単位	担当教員名	藤原 健一
	卒選	幼必	保必			
授業の到達目標及びテーマ ① テマ : 望ましい保育環境のあり方を理解することにより、保育者としての実践的な指導力を身につける。 ② 目標 ・乳幼児期における身近な環境とのふれあいについて、具体的な事例等から理解する。 ・乳幼児の発達における様々な環境の意義や役割について、理解を深める。 ・子どもの実態に即した環境構成と活用の仕方について、事例や実習体験等を生かしながら模擬保育を行うことにより、実践的に学習する。						
授業の概要：幼稚園教育や保育所の保育は、子どもを健やかに育てる営みに深くかかわる人的・物的環境のありようを、総合的かつ科学的に考えさせていこうとするものである。子どもの発達特性や生活実態に即した望ましい保育環境をどう構成するかについて考察させ、その環境を保育者が協力して、有効活用していくことの重要性についても理解させる。指導にあたっては、実際の保育場面をイメージさせながら課題を設定させ模擬保育を行わせることにより、実践力を養う。						

授業計画

コマ(回)	項目	内容	模擬保育			
1	保育の基本と保育内容	○保育の基本 ○保育内容 ○保育の計画 ○領域 ○領域「環境」	○オリエンテーション①			
2	子どもの「環境とかかわる力」の発達を支えているもの①	○子どもの発達の見方・捉え方 ○生活の中での「環境とかかわる力」の発達	○オリエンテーション②			
3	子どもの「環境とかかわる力」の発達を支えているもの②	○遊びの中での「環境とかかわる力」の発達 ○環境の中での「環境とかかわる力」の発達	○模擬保育①			
4	子どもの「環境とかかわる力」をどう理解するか①	○身近な自然とどうかかわっているか ○生き物とどうかかわっているか他	○模擬保育①の反省評価 ○ミニ講義			
5	子どもの「環境とかかわる力」をどう理解するか②	○文字や記号とどうかかわっているか ○数量や形とどうかかわっているか他	○模擬保育②			
6	領域「環境」と保育方法①	○教育課程・保育課程と領域「環境」 ○指導計画と領域「環境」○環境構成と領域「環境」	○模擬保育②の反省評価 ○ミニ講義			
7	領域「環境」と保育方法②	○保育者の役割と領域「環境」 ○保育者の評価と領域「環境」	○模擬保育③			
8	領域「環境」と保育の実践①	○好奇心を抱くには ○探究心をもつには ○思考力の芽生えを培うには	○模擬保育③の反省評価 ○ミニ講義			
9	領域「環境」と保育の実践②	○物や生命を大切にするには ○文字や数量に関心をもつには他	○模擬保育④			
10	領域「環境」と実践上の留意点①	○身近な環境を生活に取り入れる ○自然に自分から触れるようになるには他	○模擬保育④の反省評価 ○ミニ講義			
11	領域「環境」と実践上の留意点②	○遊びのなかで物事の法則性に気づく ○繰り返し試したり工夫することの大切さ他	○模擬保育⑤			
12	領域「環境」の変遷①	○明治期の保育とその内容 ○大正期から昭和初期の保育とその内容	○模擬保育⑤の反省評価 ○ミニ講義			
13	領域「環境」の変遷②	○戦後の新しい教育制度と保育要領 ○高度経済成長期の保育内容～領域の誕生～	○模擬保育⑥			
14	領域「環境」の変遷③	○平成の改訂～保育内容・領域「環境」～	○模擬保育⑥の反省評価 ○ミニ講義			
15	学習のまとめ	○保育内容「環境」を通して学んだことについて小論文にまとめる	◎学習のまとめ			
定期試験	実施しない					
テキスト	最新保育講座9 保育内容「環境」 柴崎正行・若月芳浩編 ミネルヴァ書房					
参考図書	「幼稚園教育要領解説」文部科学省刊、「保育所保育指針解説書」厚生労働省編					
教員の評価方法	学習への関心・意欲・態度(30%)、指導案・模擬保育・小論文・提出物(70%)の総合で評価					
準備学習等 履修上の留意点	テキストと演習資料に目を通してること 模擬保育を行う場合は、準備等を念入りに行うこと					